

魔法のワンドプロジェクト 地域セミナー沖縄会場

実践中間報告

インクルーシブ保育における
友だち関係を深める
「思い出帳」

東京学芸大学附属特別支援学校

亀田隼人

東京学芸大学附属特別支援学校とは？



- 東京都東久留米市
- 通学範囲11区市（東京都、埼玉県）

東京学芸大学附属特別支援学校とは？



- 知的障害特別支援学校
- 国立大学法人の附属学校
- 幼稚部、小学部、中学部、高等部 全校で70名程度

幼稚部！



玄関



廊下



教室



遊戯室

今日の話題

- 昨年度までの取り組み
- 今年度の取り組み
- 実施状況と今後の見通し

昨年度までの取り組み

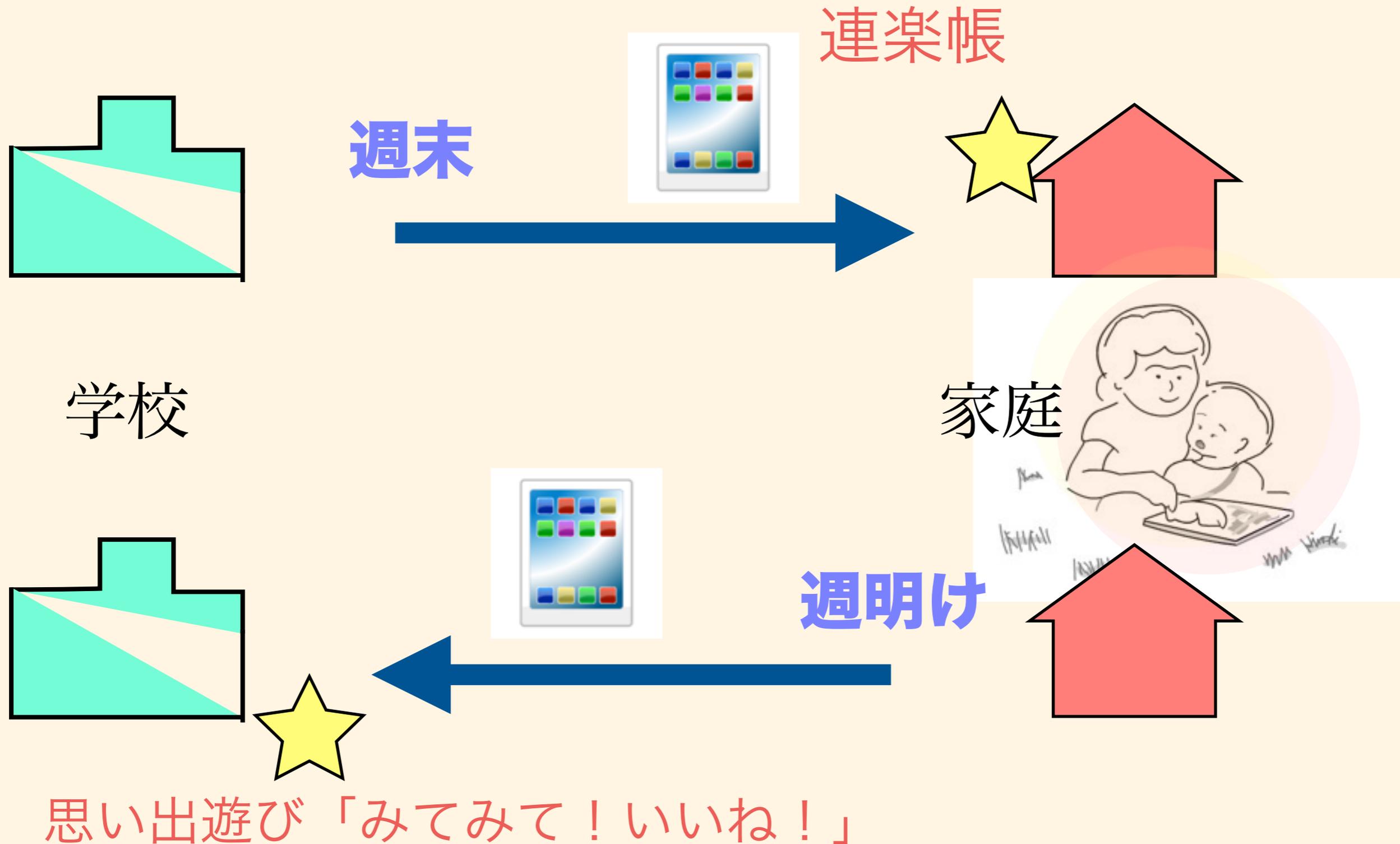
幼稚部に在籍する全幼児に対して、

- 「連楽帳」の実践（2012's～）
- 思い出遊び「みてみて！いいね！」の授業実践
（2013's～）

「連楽帳」の実践（2012's～）

- 保護者との連絡帳の補完的活用
- 家庭での幼児とのコミュニケーションツール
- それぞれの幼児の思い出のアルバム帳

リアルな経験をイメージで共有



思い出遊び「みてみて！いいね！」（2013's～）



自己意識や共感性の芽生え



思い出遊びの授業実践でわかったこと

- 1) 映像があることで、音声言語のない幼児にも過去の経験を思い出したり、相手にみせたりする行動を育むことができる。
- 2) 音声言語のない幼児にも、他者の意見や感情、立場や気持ちを肯定的に受け止めるスキルを育むことができる。

◆ 幼児同士でスキルを高め合うことができる！

今年度の取り組み

「相手がみえる交流」
を目指す！

幼稚部の週時表 (2014's)

時刻\曜日	月	火	水	木	金	
9:00~	登校 または 個別の時間 (4歳児)		登園 9:15	登校 または 個別の時間 (4歳児)		
9:30~	朝の支度・着替え 自由遊び		交流 (市内の保育園で過ごす。)	朝の支度・着替え 自由遊び		
10:00~	朝の集まり			朝の集まり		
10:40 ~11:10	課題遊び (自由遊び)			課題遊び (自由遊び)		
11:30 ~12:30 ~13:15	配膳の手伝い 給食 昼休み (自由遊び)			降園 12:15	配膳の手伝い 給食 昼休み (自由遊び)	

東久留米市立😊保育園との交流

- 園児80名程度。
- 30年以上前から本校と交流を行っている。
- 5月：職員同士の打ち合わせ（年度計画・幼児/園児の実態把握）。
- 6月～：毎週水曜日は😊保育園に直接登園。本校教員も😊保育園で
幼
児を迎え入れる。
- 運動会等行事への参加、学習発表会の移動公演。
- いも掘り、散歩などで園児が本校に来て活動する。

→ 双方で、交流内容や方向性を確認しながら
インクルーシブな保育を行っている。

東久留米市立😊保育園との交流目的

本校幼児と保育園園児が活動を共に行うことによって、

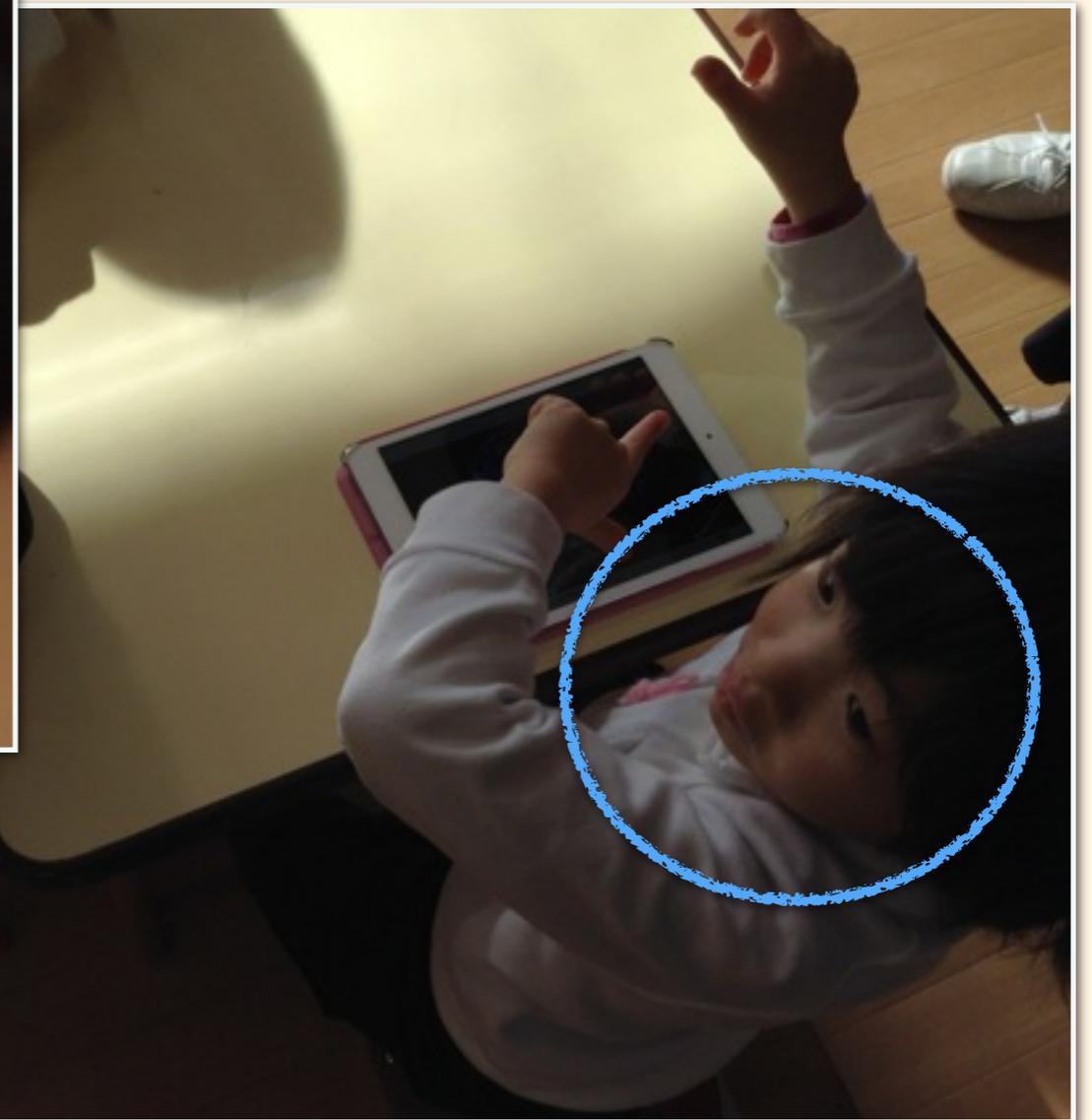
- 生活経験を広げる。
- 社会性を育む。

Sさん

- 5歳児。幼稚部在籍2年目。
- 明確な音声言語による発語なし。
- 写真、動画の理解可能（過去の行事写真を指差して笑顔をみせるなど。）。
- 動作模倣得意。
- 東久留米市在住。



Sさんの昨年度までの成長



Sさんの交流での楽しみ



Sさんの交流での楽しみ



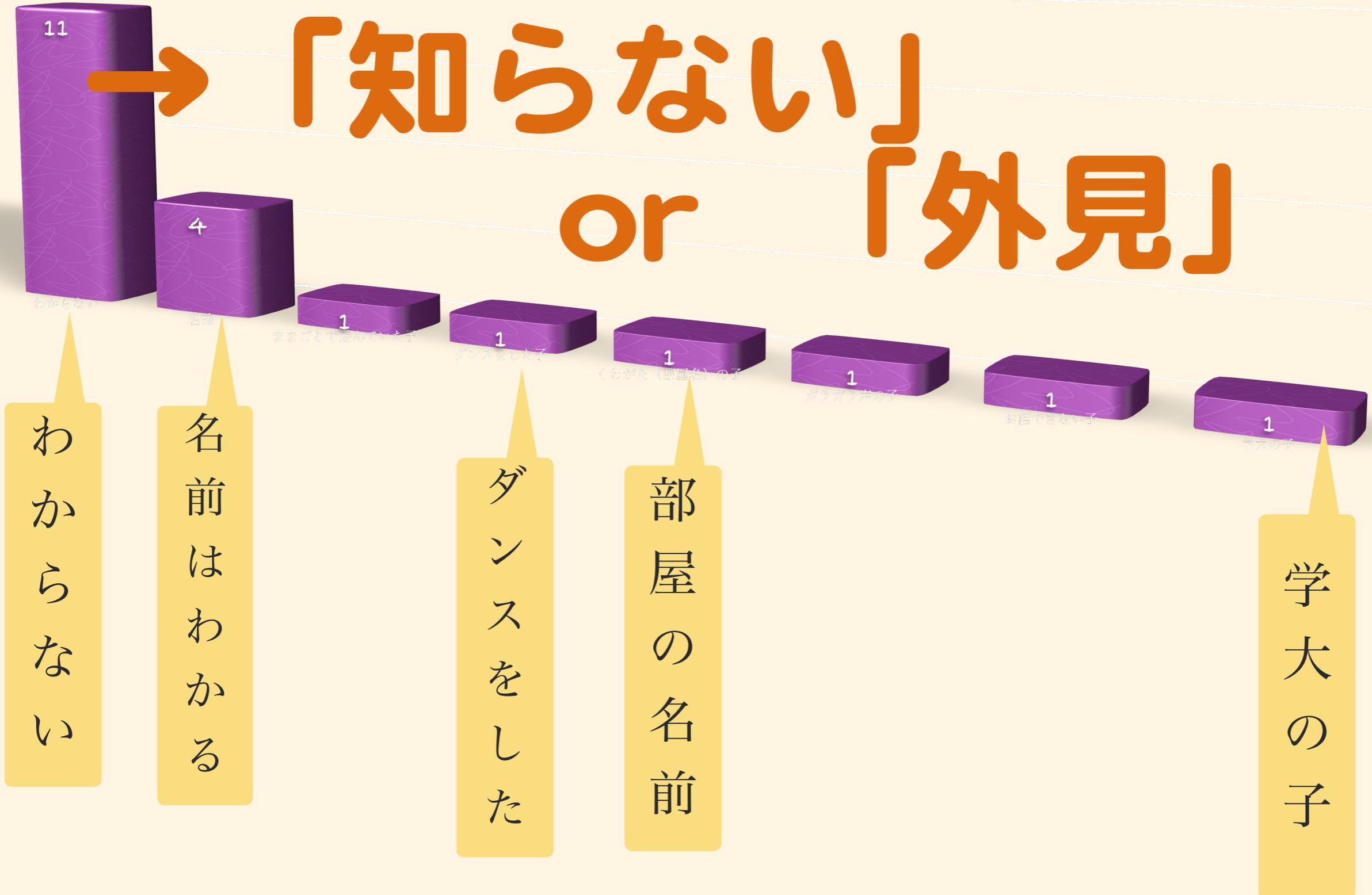
インタビュー

「Sさんってどんな人？」

- 😊 保育園の園児14名に対して、Sさんの印象を聞いた。
- 14名は、言葉で返答できる年中児、年長児の中からランダムに抽出した。
- 質問時間は、1人に対して1分以内とした。

「Sさんってどんな人？」

→ 「知らない」
or 「外見」



目標

交流の場面に「思い出帳」を持ち込むことで、

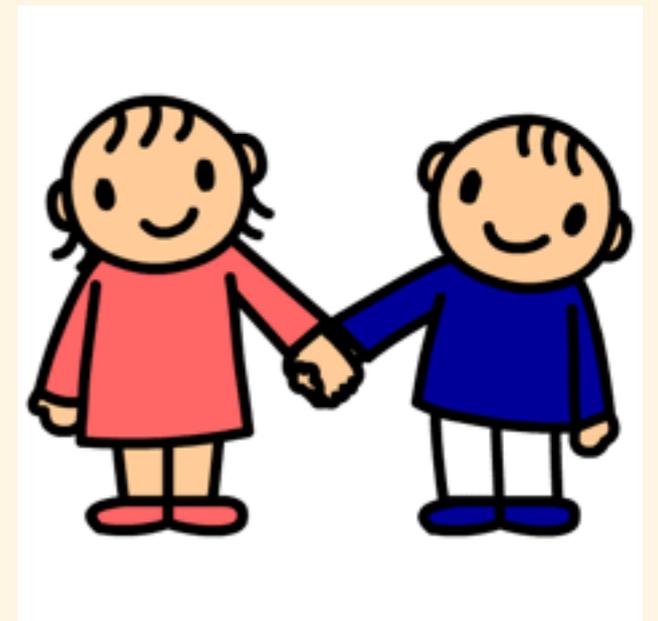


Sさんが、園児に自らの経験を自慢するなど主体的なかかわりができるようになる。



😊保育園園児が、Sさんの経験や好みのような「内面」にに関心をもつようになる。

→ 交流の場でも友だち関係が深まる。



実施状況と今後の見通し

「連楽帳」と「思い出遊び」の継続



- 5月保護者会で「連楽帳」のトリセツを配布。活動の了解を得た。以降、毎週末に持ち帰っている。
- 6月30日（月）「思い出遊び」実施。以降、1回/1～2週のペースで実施している。

「思い出帳」の導入

【6月17日（火）保護者の了解を得る】

「思い出帳」の交流場面への持ち込みについて、
文書を手渡して説明した。

【7月2日（水）😊保育園の了解を得る】

😊保育園園長先生に文書を手渡して説明。全職員の前での説明を求められ、後日、活動について説明した。趣旨について賛同を得た。

「思い出帳」の使い方



- Sさんは、自由遊び場面の10～15分程度、「思い出帳」を携帯して過ごす。
 - Sさんと園児の会話、Sさんが選んだ思い出、集まる人数などを写真やビデオで記録する。
 - 必要に応じて、保育士と場面を振り返り活動を改善する。
- ※ 7月末日現在、2回実施。

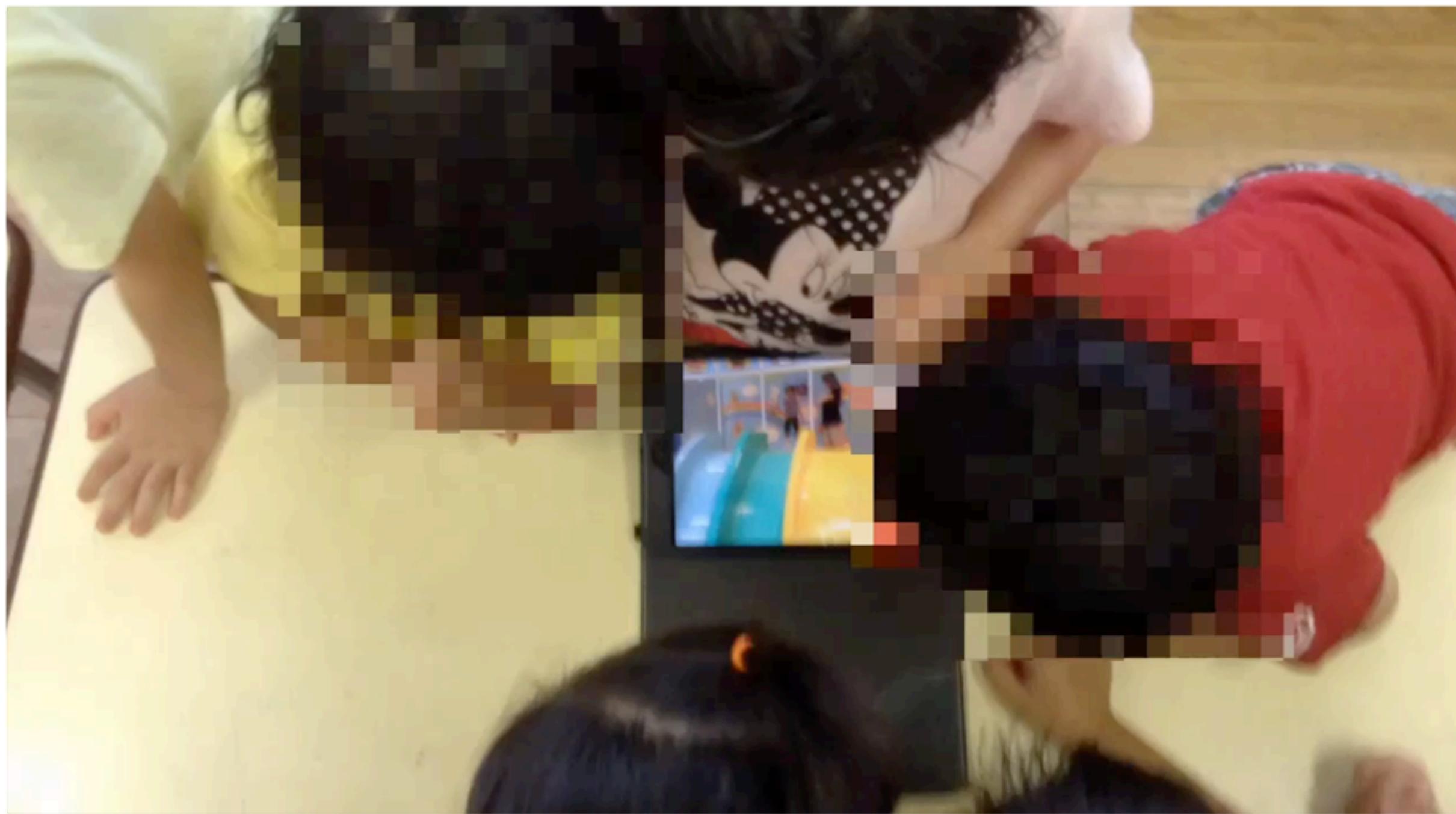
「思い出帳」を初めて使った！



園児と教員とのやり取りに！

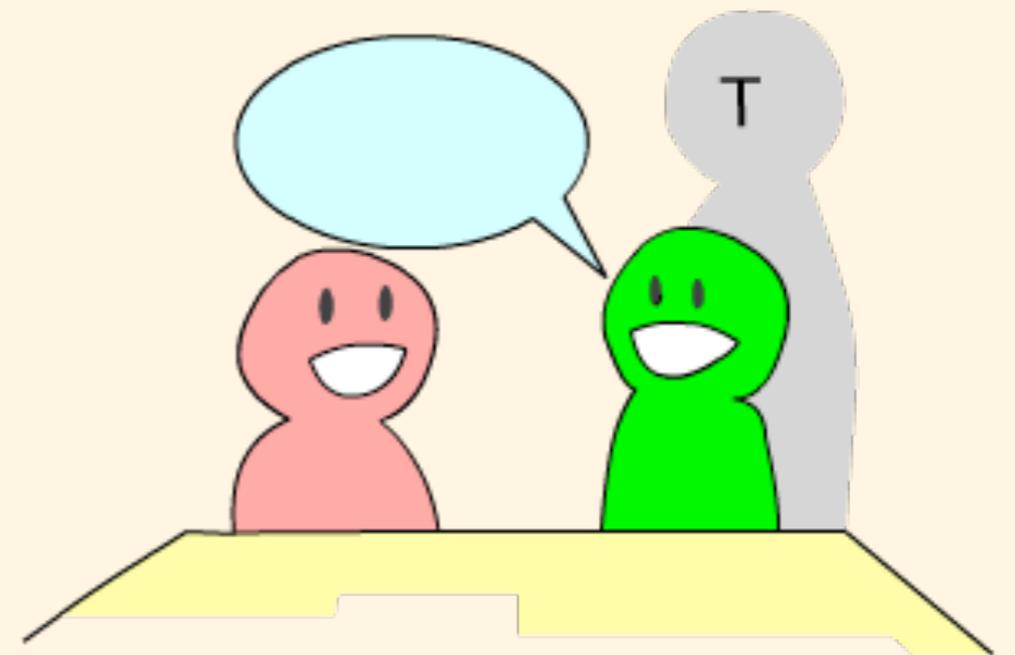


園児の感想！



教員の役割

- 話し手の準備補助
- 園児に対してSさんとのかかわり方を支援する



園児の要求に応じる！



今後の見通し

【予定】

- 年内に10回程度の実施予定。
 - Sさんの「**自慢気な顔**」を増やしたい。
- 9月末に再インタビュー予定「Sさんってどんな人？」
 - Sさんの**内面への理解**が深まることに期待。

【課題】

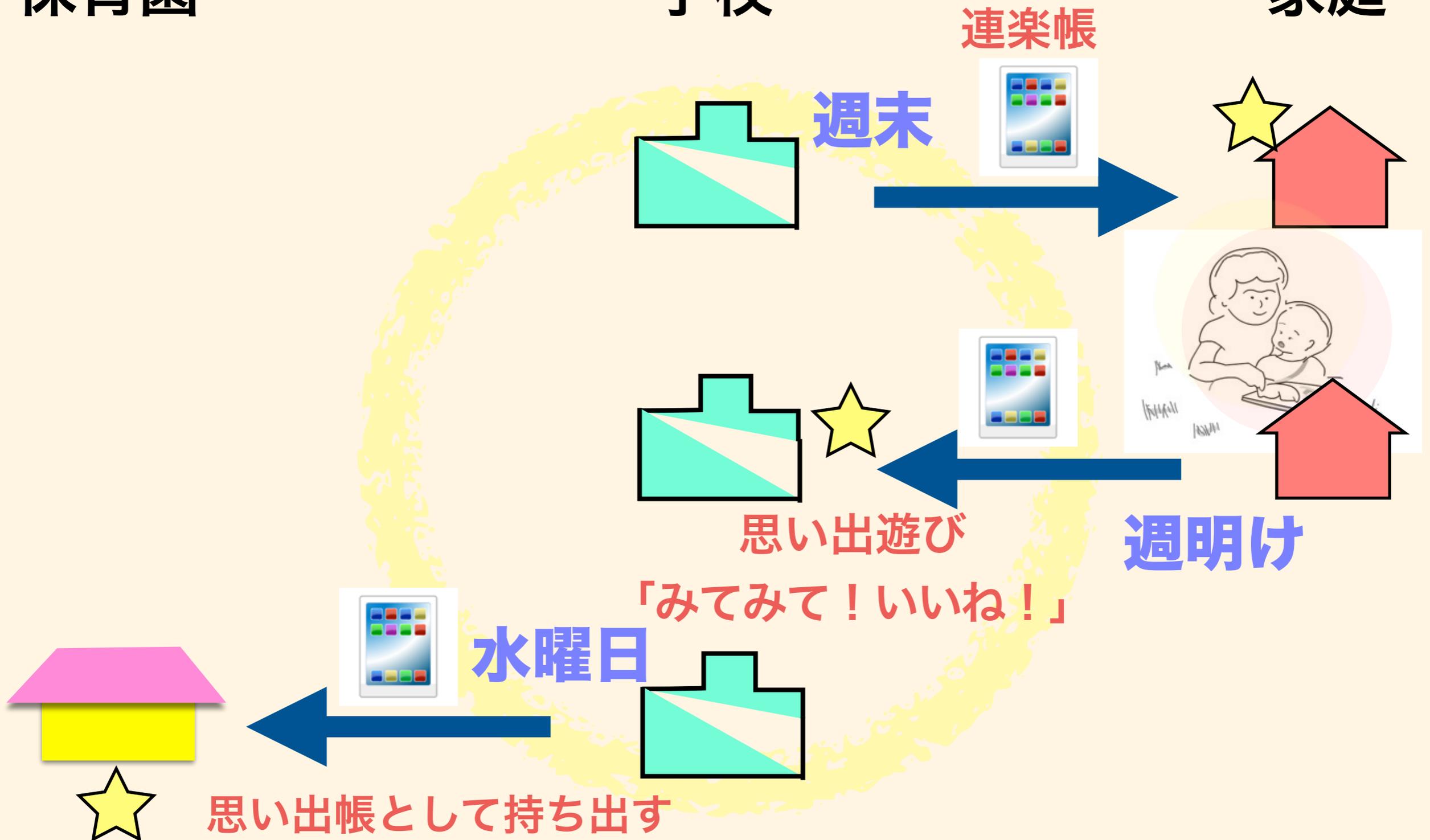
- 友だち同士の関係が深まる大人の役割
- 学校の様子もみられるような形式の工夫

Sさんの新たな学習サイクル

保育園

学校

家庭



ご清聴ありがとうございました

